

合 計（計画事業費が「－」の事業は除く）

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その2)

政 策 目 標		3	高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街						
重 点 課 題		1	高齢者の地域生活支援の充実						
達 成 目 標 の 状 況									
施策番号		項 目		18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (実 績)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
1	地区福祉のまち推進センター拠点設置数(累計)		58地区	59地区	61地区	62地区	74地区	74地区	
1	福祉推進員数(累計)		6,170人	6,174人	6,231人	6,449人	6,600人	6,600人	
1	〔福祉除雪〕利用世帯の満足度		90.2%	94.3%	95.7%	95.6%	90%以上	90%以上	
1	〔福祉除雪〕地域協力員の満足度		90.8%	92.5%	95.8%	97.7%	90%以上	90%以上	
1	シニアサロンモデル事業設置数(累計)		6カ所	10カ所	11カ所	10カ所	12カ所	20カ所	
1	シニアチャレンジ事業実施団体数(累計)		8団体	11団体	15団体	16団体	20団体	50団体	
1	ねんりんピック北海道・札幌 2009の開催		開催準備	開催準備	開催準備	開催		開催 (21年度)	
1	敬老優待乗車証の利用限度額		5万円	5万円	5万円	7万円	7万円	7万円 (21年度)	
2	消費生活みまもり協力員の配置区数		—	3区	10区	10区	10区	10区 (20年度)	
2	地区福祉のまち推進センター拠点設置数(累計)		58地区	59地区	61地区	62地区	74地区	74地区	
2	福祉推進員数(累計)		6,170人	6,174人	6,231人	6,449人	6,600人	6,600人	
2	〔高齢者、障がい者の生活あんしん支援〕総合的な相談窓口の設置		検討	検討	設置			設置 (20年度)	
2	社会福祉協議会の法人後見事業の実施		検討	検討	実施	実施	実施	実施 (20年度)	
2	〔さっぽろ孤立死ゼロ〕市民啓発に出向いた回数(参加人数 累計)		12回 (360人)	18回 (818人)	47回 (2,765人)	71回 (3,787人)	95回 (4,507人)	84回 (2,520人)	
2	認知症サポーター養成数(累計)		1,862人	4,207人	7,052人	12,013人	17,000人	9,000人	
2	高齢者向け優良賃貸住宅の認定戸数		147戸	147戸	147戸	197戸	247戸	347戸	
2	借上市営住宅の認定戸数		894戸	986戸	1,087戸	1,178戸	1,278戸	1,298戸	
2	既設市営住宅バリアフリー化事業効果の検証		未検証	30戸	30戸	16戸	基本設計・ 検証	検証済み	
2	(白石区)地域における要援護者への体制づくり		—	モデル地区 の選定	モデル地区 での取り組み	モデル地区 での取り組み	全地区 での取り組み	全地区 での取り組み	
3	地域包括支援センター設置数(累計)		17カ所	17カ所	17カ所	17カ所	21カ所	21カ所	
3	一般高齢者の介護予防事業の開催回数		2,645回	2,707回	2,903回	2,951回	2,950回	2,645回	
3	特定高齢者の運動能力向上トレーニング事業、筋力向上トレーニング事業及び一般高齢者の転倒骨折予防事業への参加者数		1,702人	13,086人	14,946人	16,432人	16,900人	2,400人	
3	特定高齢者の運動能力向上トレーニング事業、筋力向上トレーニング事業及び一般高齢者の転倒骨折予防事業の開催回数		895回	1,720回	1,865回	2,139回	2,200回	1,137回	
3	〔夜間対応型訪問介護〕利用者数		—	12人/月	62人/月	121人/月	187人/月	460人/月	
3	地域密着型特別養護老人ホームの入所定員数		51人	51人	80人	165人	281人	283人	
3	〔若年性認知症支援〕交流会などへの当事者の参加者数		32人	23人	146人	46人	60人	60人	
3	高齢者ひとくち講座開設回数		—	—	57回	128回 (延べ)	198回 (延べ)	180回以上 (延べ)	
3	口腔ケアに関する介護予防事業の実施回数		241回	188回	173回	114回	140回	500回	
	(以下余白)								

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その3)

政策目標	3	高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街
重点課題	1	高齢者の地域生活支援の充実
主 な 取 組 内 容		
施策1	社会参加の機会の拡充と社会貢献への支援	
19 年 度 (実 績)		20 年 度 (実 績)
●福祉のまちづくり活動を推進する拠点である福祉のまち推進センター拠点設置数 新規1カ所(累計59地区) ●地域住民などの協力員による福祉除雪 利用世帯数3,930世帯・協力団体数219団体・地域協力員数2,612人 ●高齢者の地域貢献に係る取組であるシニアチャレンジ事業実施団体数 新規3団体(累計11団体) ●高齢者の活動の拠点となるシニアサロンモデル事業設置数新規4カ所(累計10カ所) ●ねんりんピック北海道・札幌2009(平成21年9月開催)札幌市実行委員会の設置・開催 ●高齢者の外出を支援する敬老優待乗車証の交付 交付申請人数 170,484人(申請率75.9%)		●福祉のまちづくりをさらに推進するためのステップアップ事業の実施 ●地域住民などの協力員による福祉除雪 利用世帯数4,118世帯 ●高齢者の地域貢献に係る取組であるシニアチャレンジ事業実施団体 新規4団体(累計15団体) ●高齢者の活動の拠点となるシニアサロンモデル事業設置新規1カ所(累計11カ所) ●ねんりんピック北海道・札幌2009リハーサル大会の開催等 ●高齢者の外出を支援する敬老優待乗車証の交付 交付申請人数175,249人(申請率75.4%)
21 年 度 (実 績)		22 年 度 (予 定)
●福祉のまちづくりをさらに推進するためのステップアップ事業の実施 ●地域住民などの協力員による福祉除雪 利用世帯数4,148世帯 ●高齢者の地域貢献に係る取組であるシニアチャレンジ事業実施団体 新規1団体(累計16団体) ●高齢者の活動の拠点となるシニアサロンモデル事業実施新規1カ所(累計10カ所) ●ねんりんピック北海道・札幌2009の開催 ●高齢者の外出を支援する敬老優待乗車証の交付 交付申請人数179,918人(申請率74.8%) ●敬老優待乗車証の年間利用上限額を7万円に引き上げ		●福祉のまちづくりをさらに推進するためのステップアップ事業の実施 ●地域住民などの協力員による福祉除雪 利用世帯数4,200世帯 ●高齢者の地域貢献に係る取組であるシニアチャレンジ事業実施 ●高齢者の活動の拠点となるシニアサロンモデル事業実施 ●高齢者の外出を支援する敬老優待乗車証の交付 交付申請人数188,637人(申請率75.6%)
施策2	高齢者の安心を支える地域福祉力の向上	
19 年 度 (実 績)		20 年 度 (実 績)
●高齢消費者被害防止ネットワーク事業 中央、北、東の3区で試行実施 ●地域福祉権利擁護事業・福祉サービス苦情相談・高齢者虐待相談・障がい者あんしん相談の総相談件数 10,854件 ●マンションなどの集合住宅に住むひとり暮らしの高齢者の孤立死を防ぐためのさっぽろ孤立死ゼロ推進会議の開催、さっぽろ孤立死ゼロ推進センターの設置及び運営開始 ●認知症の方とその家族を支援するため認知症サポーター養成講座の実施 ●民間活力を活用した借上市営住宅の新規工事着手 2カ所(92戸) ●階段室型の既設市営住宅に対するエレベーターの新規設置 3基 ●白石区地域住民等による要援護者支援体制づくり モデル地区選定		●高齢消費者被害防止ネットワーク事業 全区で実施 ●判断力が低下した高齢者、障がい者などの成年後見制度を含めた総合的な相談窓口として「高齢者・障がい者生活あんしん支援センター」の開設(10月～) ●社会福祉協議会による法人後見事業の実施 ●さっぽろ孤立死ゼロ推進会議の実施及びさっぽろ孤立死ゼロ推進センターの運営 ●民間活力を活用した借上市営住宅の新規工事着手 2カ所(101戸) ●階段室型の既設市営住宅に対するエレベーターの新規設置 3基 ●白石区地域住民等による要援護者支援体制づくり モデル地区における具体的な支援策の検討
21 年 度 (実 績)		22 年 度 (予 定)
●高齢消費者被害防止ネットワーク事業の周知と協力依頼、連携先の拡充 ●「高齢者・障がい者生活あんしん支援センター」の運営 ●社会福祉協議会による法人後見事業の実施 ●さっぽろ孤立死ゼロ推進会議の実施及びさっぽろ孤立死ゼロ推進センターの運営 ●民間活力を活用した高齢者向け優良賃貸住宅の新規認定50戸(年度末認定戸数197戸) ●民間活力を活用した借上市営住宅の新規工事着手 2カ所(91戸) ●階段室型の既設市営住宅に対するエレベーターの新規設置 2基 ●白石区地域住民等による要援護者支援体制づくり 「町内会担当者打合せ会議」を開催し、災害時要援護者支援名簿作成に向けた検討、名簿作成		●高齢消費者被害防止ネットワーク事業の周知と協力依頼、連携先の拡充 ●「高齢者・障がい者生活あんしん支援センター」の運営 ●社会福祉協議会による法人後見事業の実施 ●さっぽろ孤立死ゼロ推進会議の実施及びさっぽろ孤立死ゼロ推進センターの運営 ●民間活力を活用した高齢者向け優良賃貸住宅の新規認定50戸(年度末認定戸数247戸) ●民間活力を活用した借上市営住宅の新規工事着手 100戸 ●白石区地域住民等による要援護者支援体制づくり モデル地区の取組み報告会や情報交換会実施

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その4)

政 策 目 標	3	高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街					
重 点 課 題	1	高齢者の地域生活支援の充実					
主 な 取 組 内 容							
施策3 介護・保健福祉サービスの充実による健やかな地域生活の支援							
19 年 度（ 実 績 ）			20 年 度（ 実 績 ）				
●要介護状態へ移行するのを防ぐための各種介護予防教室の実施 ・一般高齢者の介護予防事業開催回数 2,707回 ・特定高齢者の運動能力向上トレーニング事業等 開催回数1,720回、参加者数13,086人 ●夜間の定期巡回と通報による随時訪問を組み合わせた夜間対応型訪問介護事業 3カ所開設(利用者数12人/月) ●自宅での生活が困難になった高齢者が介護を受けながら生活するための地域密着型特別養護老人ホーム工事着手 1カ所(定員29人;20年10月開設) ●若年性認知症本人や家族などをサポートするための各種支援事業の実施 ●高齢者の食事アドバイスなどを行う高齢者ひとくち講座を実施するため高齢者のための食生活指針を作成 ●在宅療養高齢者に対して歯科医師による訪問診療を実施			●要介護状態へ移行するのを防ぐための各種介護予防教室の実施 ・一般高齢者の介護予防事業開催回数 2,903回 ・特定高齢者の運動能力向上トレーニング事業等 開催回数1,865回、参加者数14,946人 ●夜間の定期巡回と通報による随時訪問を組み合わせた夜間対応型訪問介護事業 利用者数62人/月 ●自宅での生活が困難になった高齢者が介護を受けながら生活するための地域密着型特別養護老人ホーム工事着手 2カ所(定員合計56人) ●若年性認知症本人や家族などをサポートするための各種支援事業の実施 ●高齢者ひとくち講座の実施 実施回数57回 ●在宅療養高齢者に対して歯科医師による訪問診療を実施 実施回数173回				
21 年 度（ 実 績 ）			22 年 度（ 予 定 ）				
●要介護状態へ移行するのを防ぐための各種介護予防教室の実施 ・一般高齢者の介護予防事業開催回数 2,951回 ●夜間の定期巡回と通報による随時訪問を組み合わせた夜間対応型訪問介護事業 利用者数121人/月 ●自宅での生活が困難になった高齢者が介護を受けながら生活するための地域密着型特別養護老人ホーム工事着手 2カ所(定員合計58人)※他に補助対象外1カ所(定員29人) ●若年性認知症本人や家族などをサポートするための各種支援事業の実施 ●高齢者ひとくち講座の実施 実施回数71回 ●在宅療養高齢者に対して歯科医師による訪問診療を実施 実施回数114回			●要介護状態へ移行するのを防ぐための各種介護予防教室の実施 ・一般高齢者の介護予防事業開催回数 2,950回 ●夜間の定期巡回と通報による随時訪問を組み合わせた夜間対応型訪問介護事業 利用者数187人/月 ●自宅での生活が困難になった高齢者が介護を受けながら生活するための地域密着型特別養護老人ホーム工事着手 2カ所(定員合計58人) ●若年性認知症本人や家族などをサポートするための各種支援事業の実施 ●高齢者ひとくち講座の実施 実施回数70回 ●在宅療養高齢者に対して歯科医師による訪問診療を実施 実施回数140回				
主 な 施 設 、 サ ー ビ ス の 整 備 水 準							
施 設（ サ ー ビ ス ） 名		18年度末 （ 現 状 ）	19年度末 （ 実 績 ）	20年度末 （ 実 績 ）	21年度末 （ 実 績 ）	22年度末 （ 予 定 ）	22年度末 （ 目 標 ）
敬老優待乗車証		5万円	5万円	5万円	7万円	7万円	7万円
高齢者向け優良賃貸住宅		147戸	147戸	147戸	197戸	247戸	347戸
地域包括支援センター(介護・健康何でも相談センター)		17カ所	17カ所	17カ所	17カ所	21カ所	21カ所
特別養護老人ホーム		48カ所	49カ所	51カ所	54カ所	57カ所	56カ所

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その5)

政策目標	3	高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街
重点課題	1	高齢者の地域生活支援の充実
評価(成果)		課題
施策1 社会参加の機会の拡充と社会貢献への支援		
<p>平成17年度から実施しているはつらつシニアサポート事業は、高齢者が集うサロンの設置や先駆的な地域貢献活動への支援を行い、高齢者の社会参加や知識・経験を活かした地域貢献活動を促進している。福祉除雪事業は、利用世帯及び除雪に従事する地域協力員双方の満足度が高い上、地域における支えあい活動の一翼も担い、地域福祉力の向上に寄与している。また、21年度から敬老優待乗車証の利用上限額を従来の5万円から7万円に引き上げ、高齢者の社会参加の促進の一助となっている。</p> <p>また、平成21年9月には、「ねんりんピック北海道・札幌2009」を開催し、成功裏に終えることができた。</p>		<p>人口規模の大きい団塊の世代が高齢者となる状況にかんがみ、元気高齢者ができるだけ社会へ貢献できるような枠組みが求められている。こうした状況下を踏まえて創設されたはつらつシニアサポート事業をさらに発展させるために、自立的な事業運営を働きかけるとともに、地域住民や関係団体との連携を一層高め、より広がりある活動を通じて地域福祉力の充実に図る必要がある。</p> <p>また、住民の主体的なまちづくり活動を促進するため、担い手のすそ野の拡大、地域課題の共有化や課題解決に向けた取組への支援も必要である。</p>
施策2 高齢者の安心を支える地域福祉力の向上		
<p>高齢消費者被害や孤立死といった高齢者を取り巻く今日の課題に対応するための高齢消費者被害防止ネットワーク事業やさっぽろ孤立死ゼロ安心ネットワークモデル事業、さらには高齢者への良質な賃貸住宅を供給する公的賃貸住宅等の整備など、高齢者が安心して日常生活を送るための整備が進められている。</p> <p>また、平成20年10月から判断能力が低下した方の総合相談窓口として「高齢者・障がい者生活あんしん支援センター」を設置し、開設に併せて法人後見事業を開始した。</p>		<p>高齢者が安心して日常生活を送るため、良質な住宅供給や市営住宅のバリアフリー化、さらには新たな地域ネットワーク体制の構築など、ハード・ソフトの両面から安全・安心なまちづくりを推進していく。</p> <p>今後も各関係機関や地域とのネットワークを形成・強化していくとともに、活動内容を継続的に周知し、地域での担い手となる人材を育成することが重要である。</p>
施策3 介護・保健福祉サービスの充実による健やかな地域生活の支援		
<p>高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう、地域包括支援センターにおける相談業務や特定高齢者及び一般高齢者を対象とした転倒・骨折予防教室などの介護予防事業なども着実に浸透してきており、参加者は年々増加している。</p> <p>平成22年度も引き続きこれら事業の積極的な展開を図るとともに、地域生活の拠点として地域密着型特別養護老人ホームなどの拠点整備や認知症コールセンターの開設により相談体制の充実を図るなど総合的な介護・保健福祉サービスの充実に努めていく。</p>		<p>将来的な介護サービス量の増加が見込まれる中、介護予防事業の一層の拡充のために、拠点整備の実施やこれに伴う人員強化が必要である。また、各種事業を効果的に周知し、事業内容への理解を促し、参加者のさらなる増加を図っていく。</p>
今後の重点取組		
<p>人口に占める高齢者の割合が年々高まっている中、高齢者が安心して地域生活を送ることができるよう必要な支援を行っていく。高齢者の生き方や必要とする支援の種類も多様化しており、これまで以上にきめ細かい対応が求められている。高齢者の消費者被害の防止やひとり暮らし高齢者の孤立死の防止、認知症支援などを通じて、地域での安心生活をサポートしていく。</p> <p>また、今後ますます元気な高齢者の増加が見込まれていることから、多様な価値観を持つ高齢者が生きがいを持って地域生活を送ることができるよう、高齢者の社会参加の機会の拡充や社会貢献活動に対する支援を進めていく。</p>		

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その6)

政策目標	3	高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街																		
重点課題	1	高齢者の地域生活支援の充実																		
成果指標等の動向																				
項目1	週2回以上外出する高齢者の割合(単位:%)																			
<table><tr><th>年度</th><th>割合(%)</th><th>注記</th></tr><tr><td>H18</td><td>78.2</td><td>現状値</td></tr><tr><td>H19</td><td>76.7</td><td>実績</td></tr><tr><td>H20</td><td>75.6</td><td>実績</td></tr><tr><td>H21</td><td>82.1</td><td>実績</td></tr><tr><td>H22</td><td>85</td><td>目標値</td></tr></table>			年度	割合(%)	注記	H18	78.2	現状値	H19	76.7	実績	H20	75.6	実績	H21	82.1	実績	H22	85	目標値
年度	割合(%)	注記																		
H18	78.2	現状値																		
H19	76.7	実績																		
H20	75.6	実績																		
H21	82.1	実績																		
H22	85	目標値																		
【実績値の推移に係る検証】 H21は特に毎日外出する高齢者の割合が増加している																				
項目2	町内会やボランティア活動、老人クラブ活動をしている高齢者の割合(単位:%)																			
<table><tr><th>年度</th><th>割合(%)</th><th>注記</th></tr><tr><td>H18</td><td>9.5</td><td>現状値</td></tr><tr><td>H19</td><td>9.2</td><td>実績</td></tr><tr><td>H20</td><td>6.5</td><td>実績</td></tr><tr><td>H21</td><td>8.0</td><td>実績</td></tr><tr><td>H22</td><td>20</td><td>目標値</td></tr></table>			年度	割合(%)	注記	H18	9.5	現状値	H19	9.2	実績	H20	6.5	実績	H21	8.0	実績	H22	20	目標値
年度	割合(%)	注記																		
H18	9.5	現状値																		
H19	9.2	実績																		
H20	6.5	実績																		
H21	8.0	実績																		
H22	20	目標値																		
【実績値の推移に係る検証】 全体として低調な傾向となっている																				
項目3	シニアサロンに参加している人数(箇所数)(単位:人)																			
<table><tr><th>年度</th><th>人数(箇所数)</th><th>注記</th></tr><tr><td>H18</td><td>9,021 (6カ所)</td><td>現状値</td></tr><tr><td>H19</td><td>18,272 (10カ所)</td><td>実績</td></tr><tr><td>H20</td><td>22,252 (11カ所)</td><td>実績</td></tr><tr><td>H21</td><td>24,568 (10カ所)</td><td>実績</td></tr><tr><td>H22</td><td>48,000 (20カ所)</td><td>目標値</td></tr></table>			年度	人数(箇所数)	注記	H18	9,021 (6カ所)	現状値	H19	18,272 (10カ所)	実績	H20	22,252 (11カ所)	実績	H21	24,568 (10カ所)	実績	H22	48,000 (20カ所)	目標値
年度	人数(箇所数)	注記																		
H18	9,021 (6カ所)	現状値																		
H19	18,272 (10カ所)	実績																		
H20	22,252 (11カ所)	実績																		
H21	24,568 (10カ所)	実績																		
H22	48,000 (20カ所)	目標値																		
【実績値の推移に係る検証】 参加者数が増加しているが、新規のサロン立ち上げに伸び悩みが見える																				
項目4	認知症サポーター養成数(累計)(単位:人)																			
<table><tr><th>年度</th><th>人数</th><th>注記</th></tr><tr><td>H18</td><td>1,862</td><td>現状値</td></tr><tr><td>H19</td><td>4,207</td><td>実績</td></tr><tr><td>H20</td><td>7,052</td><td>実績</td></tr><tr><td>H21</td><td>12,013</td><td>実績</td></tr><tr><td>H22</td><td>9,000</td><td>目標値</td></tr></table>			年度	人数	注記	H18	1,862	現状値	H19	4,207	実績	H20	7,052	実績	H21	12,013	実績	H22	9,000	目標値
年度	人数	注記																		
H18	1,862	現状値																		
H19	4,207	実績																		
H20	7,052	実績																		
H21	12,013	実績																		
H22	9,000	目標値																		
【実績値の推移に係る検証】 H21は企業単位での開催が増えている																				
項目5	一般高齢者の介護予防事業への参加者数(単位:人)																			
<table><tr><th>年度</th><th>人数</th><th>注記</th></tr><tr><td>H18</td><td>41,228</td><td>現状値</td></tr><tr><td>H19</td><td>44,325</td><td>実績</td></tr><tr><td>H20</td><td>49,141</td><td>実績</td></tr><tr><td>H21</td><td>50,965</td><td>実績</td></tr><tr><td>H22</td><td>58,500</td><td>目標値</td></tr></table>			年度	人数	注記	H18	41,228	現状値	H19	44,325	実績	H20	49,141	実績	H21	50,965	実績	H22	58,500	目標値
年度	人数	注記																		
H18	41,228	現状値																		
H19	44,325	実績																		
H20	49,141	実績																		
H21	50,965	実績																		
H22	58,500	目標値																		
【実績値の推移に係る検証】 参加者数が増加しているが、新規のサロン立ち上げに伸び悩みが見える																				
項目6	転倒・骨折予防事業への参加者数(単位:人)																			
<table><tr><th>年度</th><th>人数</th><th>注記</th></tr><tr><td>H18</td><td>1,702</td><td>現状値</td></tr><tr><td>H19</td><td>13,086</td><td>実績</td></tr><tr><td>H20</td><td>14,946</td><td>実績</td></tr><tr><td>H21</td><td>16,432</td><td>実績</td></tr><tr><td>H22</td><td>2,400</td><td>目標値</td></tr></table> <p>※現状値及び目標値には転倒予防教室の参加者を含んでいない</p>			年度	人数	注記	H18	1,702	現状値	H19	13,086	実績	H20	14,946	実績	H21	16,432	実績	H22	2,400	目標値
年度	人数	注記																		
H18	1,702	現状値																		
H19	13,086	実績																		
H20	14,946	実績																		
H21	16,432	実績																		
H22	2,400	目標値																		
【実績値の推移に係る検証】 転倒・骨折予防事業への参加者数が増加しているが、転倒・骨折予防教室の参加者を含んでいない																				
【実績値の推移に係る検証】 今後事業の一層の推進を図る																				
成果指標等から見た重点課題の評価																				
<p>週2回以上外出する高齢者の割合は、18年度から20年度にかけて減少傾向にあったが21年度は増加している。外出頻度を上昇させるためには、社会参加を促す施策はもちろん、地域生活の支援や介護予防事業など、総合的な高齢者施策の展開が必要とされる。</p> <p>町内会やボランティア活動、老人クラブ活動をしている高齢者の割合は、対前年度比で1.5ポイント増となったが、高齢者の活動は、町内会やボランティア活動、老人クラブ活動以外にも広がりを見せ、多様化している様子がうかがえる。</p> <p>認知症サポーター養成数は大幅に増加しており、一般高齢者の介護予防事業への参加者数と転倒・骨折予防事業への参加者数も年々増加していることから、介護予防事業への理解や普及が進んでいることがうかがえる。</p>																				